

岐阜大学応用生物科学部  
附属家畜衛生地域連携教育研究センター

2018年度 年次報告



**Annual report of Education and Research Center  
for Food Animal Health, Gifu University (GeFAH)  
2018**

## 目 次

センター長挨拶	1
教育連携に係る取り組みの概要	2
1. GeFAH 組織および構成員	3
2. 関連規則	4
3. 関連施設	7-8
4. 活動実績	
(1) 産業動物の飼育・衛生管理、疾病予防、産業動物臨床に関する総合的な教育・研究 高病原性鳥インフルエンザ防疫演習	9-10
(2) 産業動物獣医師育成、家畜感染症・人獣共通感染症に関する教育研究	
1) 公衆・家畜衛生インターンシップ	10-12
2) 獣医関係法規	12
3) 動物衛生学実習	12
4) 高校生向け産業動物獣医師に関するガイダンス	12-17
5) 岐阜市立女子短期大学食物栄養学科との教育連携	18-20
6) 家畜衛生技術検討会	21
(3) 地域貢献、獣医学教育の国際化等	22-23
(4) その他の活動	
○ 岐阜県連携	24-26
○ 畜産・産業動物に関連する研究実績 論文発表	27-28
○ 豚コレラに係る対応	29-34
編集後記	35

## センター長あいさつ

平成 31 年 3 月  
GeFAH センター長 猪島 康雄

岐阜大学応用生物科学部附属家畜衛生地域連携教育研究センター（**E**ducation and **R**esearch Center for **F**ood **A**nimal **H**ealth, **G**ifu University、略して GeFAH ジーフア）は、岐阜県と連携し家畜衛生教育と研究を推進することを目的とし、2015 年 4 月に設置されました。2017 年 6 月岐阜県中央家畜保健衛生所が岐阜大学キャンパス内に移転し、その 3 階に GeFAH の実習室、研究室、解析室が整備され、教育と研究の連携が強化されました。今年度の GeFAH の活動内容を年報としてまとめましたのでぜひご一読下さい。GeFAH との教育・研究連携に中心となってご尽力いただきました岐阜県中央家畜保健衛生所をはじめ、岐阜県、各家畜保健衛生所、畜産関係者、岐阜大学の皆様、および GeFAH の活動にご理解とご協力をいただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。GeFAH のホームページでは、活動記録を随時更新しています。ぜひご覧下さい。<http://www.abios.gifu-u.ac.jp/gefah/>

GeFAH は、1) 家畜衛生の教育に関すること、2) 家畜疾病等の学術研究に関すること、および 3) 家畜の防疫・保健衛生対策に関すること、を主な業務内容として掲げ、家畜感染症対策部門と家畜飼養衛生管理部門との 2 つの部門で組織されています。本年度は山本朱美教授（動物栄養科学）が家畜飼養衛生管理部門に新たに加わりパワーアップしました。一方、家畜感染症対策部門の大屋賢司准教授が国立医薬品食品衛生研究所に転出のため 9 月末に、家畜飼養衛生管理部門の新津伊織技術職員が任期満了のため 3 月いっぱい退職されました。大屋先生は、岐阜県との共同研究により、家畜の慢性感染症である豚抗酸菌症の実態調査を実施し、農場で使用されているおが粉が豚抗酸菌に汚染され感染源となっていることを遺伝学的に明らかにしました。この結果を踏まえ、豚舎の環境衛生対策を実施し、その後の豚抗酸菌症発生を減少させました。岐阜県との連携による大きな成果の一つです。新津さんは、総合的な家畜衛生教育システムの構築に向けて、岐阜県主催 GeFAH 共催の高病原性鳥インフルエンザ防疫作業リーダー研修会（実働防疫演習）や、岐阜市立女子短期大学食物栄養学科の学生を対象とした教育連携授業の中心となって運営に携わっていただき、GeFAH ホームページの管理も担当していただきました。お二人の GeFAH、そして家畜衛生教育と研究へのご貢献に深く感謝いたします。

2018 年 9 月、岐阜市内の養豚場で国内 26 年ぶりとなる豚コレラが発生しました。野生イノシシへのウイルス感染拡大、養豚場での発生が県を超えて続き、残念ながら歯止めがかかっていません。12 月末の大規模養豚場の発生では、岐阜県からの要請により GeFAH の教員を含む共同獣医学科の教員、大学院生、のべ 36 人が殺処分、防疫措置作業に加わりました。あらためて家畜衛生とともに、家畜衛生教育・研究、岐阜県や自治体との連携の重要性を再認識しております。今後とも皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 教育連携に係る取り組みの概要

### 1. 産業動物の飼育・衛生管理、疾病予防、産業動物臨床に関する総合的な教育・研究

家畜衛生に係る総合的な教育システム構築に向けて、岐阜大学応用生物科学部の教員・学生も参加し、高病原性鳥インフルエンザ防疫作業リーダー研修会（実働演習演習）（9月6日、岐阜県主催、GeFAH 共催）を実施した。また、共同獣医学科で感染症を扱う3研究室が中央家畜保健衛生所3階の GeFAH 実験室及び実習室に入居し研究体制を構築した。さらに、家畜疾病及び人獣共通感染症の病原体や食中毒菌を用いる微生物学実習、公衆衛生学実習、食品衛生学実習、等を GeFAH 実習室で実施した。大学教育導入演習 II では、岐阜大学と鳥取大学の学生が GeFAH と中央家畜保健衛生所を見学し、家畜衛生への理解を深めることができた。

### 2. 産業動物獣医師育成、家畜感染症・人獣共通感染症に関する教育研究等

共同獣医学科の学生を対象に公衆・家畜衛生インターンシップ実習（夏休み期間中）のほか、獣医事法規、動物衛生学実習、等において地方公務員獣医師を招いて教育を実施した。岐阜大学オープンキャンパスで高校生向け産業動物獣医師に関するガイダンスを実施し、獣医師の仕事として家畜の健康管理という分野があることを高校生に理解してもらい、GeFAH、中央家畜保健衛生所の見学を実施した。入学希望者およびこの分野に就職を希望する学生の増加に向けて取り組んでいる。全国的に発生が増加している慢性疾病を対象に、牛白血病の簡易検査法確立に向けた研究、肉用鶏農場における食中毒菌の疫学研究、家畜のトキソプラズマ・肝蛭の疫学研究を家畜保健衛生所と共同で継続して取り組んだ。担当した学生は、産業動物獣医師あるいは公務員獣医師を希望し、人材育成につながっている。

岐阜県の技術職員（家畜保健衛生所、畜産課及び畜産研究所職員）と共同研究に向けた情報・意見交換を目的に家畜衛生技術検討会、家畜衛生講演会、家畜衛生勉強会、岐阜県獣医師会と共催で獣医学術研修会を開催した。連携教育研究体制を熟成していく上で、教育研究機関と行政機関の間での研究（事業）目的や社会的立場の違いを理解する重要な機会となっている。

### 3. 地域貢献、獣医学教育の国際化等

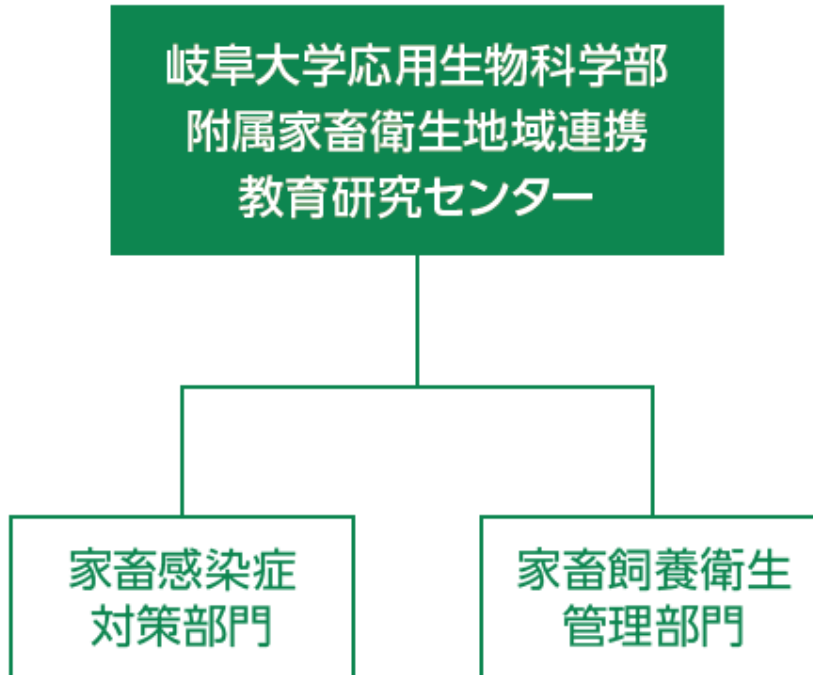
フィールド科学教育研究センターの養鶏施設を利用し、高病原性鳥インフルエンザ防疫作業リーダー研修会（実働防疫演習）を開催し、発生時の作業リーダーの育成を目的に実践的な防疫演習を実施した。そのわずか3日後に国内26年ぶりに発生した豚コレラの防疫措置にこの演習は大いに活かされた。大規模養豚場での豚コレラ発生時には、GeFAH 教員のほか、共同獣医学科の大学院生、研究生が殺処分・防疫措置作業に貢献し学長から表彰された。GeFAH 教員は、農林水産省の拡大豚コレラ疫学調査チームのメンバー、岐阜県の豚コレラ有識者会議の委員長、動物取り扱い責任者研修の講師、としても地域に貢献した。フィールド科学教育研究センター、中央家畜保健衛生所、共同獣医学科の協力を得て、地域大学への教育連携の一環として岐阜市立女子短期大学食物栄養学科学生を対象に、11月26、27日に連携授業を実施し、参加学生から高い評価を得た。平成31年度以降も実施予定である。これらの実施内容を平成31年3月5日に学内で開催された第20回岐阜大学技術報告会において「柳戸農場での教育連携授業の報告」として発表した。

家畜衛生に関する他大学のセンター（東京農工大学国際家畜感染症防疫研究教育センター、鳥取大学鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター、鹿児島大学越境性動物疾病制御研究センター）との連携を準備している。今後、教育研究関係共同利用拠点化にはマンパワーを必要とするため、専任教員の配置等人的体制の整備と予算の確保が必要である。

## 1. GeFAH 組織および構成員

- 組織

### ■ 組織・体制 Organization



- 構成員

センター長 猪島康雄、	副センター長 浅井鉄夫
家畜感染症対策部門	家畜飼養衛生管理部門
部門長 浅井鉄夫	部門長 大場恵典
伊藤直人	八代田真人
猪島康雄	山本朱美
大屋賢司 *	高須正規
高島康弘	新津伊織 *
岡田彩加	
* 平成 30 年度退職	

事務 応用生物科学部管理係長

西脇 秀和



## 2. 関連規則

### 1) 岐阜大学応用生物科学部附属家畜衛生地域連携教育研究センター規程

平成27年3月18日

規程第64号

(趣旨)

第1条 この規程は、岐阜大学応用生物科学部規程第2条に基づき、岐阜大学応用生物科学部附属家畜衛生地域連携教育研究センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、岐阜県中央家畜保健衛生所及び高度病性鑑定センターと連携・協力して、獣医学、特に家畜衛生学関連教育研究及び共同獣医学科の獣医学教育の充実を図ることを目的とする。

(教育研究部門)

第3条 センターに、次に掲げる部門を置く。

- 一 家畜感染症対策部門
- 二 家畜飼養衛生管理部門

(業務)

第4条 家畜感染症対策部門は、次に掲げる業務を行う。

- 一 病原体の感染・伝播機序等の解明に関すること。
- 二 病性鑑定、予防対策等の教育・研究に関すること。
- 三 監視伝染病発生及びまん延防止監視伝染病予防衛生指導に関すること。
- 四 自衛防疫指導推進等の改善に関すること。
- 五 家畜感染症関連実習に関すること。
- 六 その他家畜感染症対策に関すること。

2 家畜飼養衛生管理部門は、次に掲げる業務を行う。

- 一 各種疾病損耗防止・健康家畜育成に関すること。
- 二 飼料管理・畜舎環境整備・飼養衛生に関すること。
- 三 安全・高品質畜産物生産促進指導に関すること。
- 四 飼育環境改善・経営指導による畜産業振興に関すること。
- 五 家畜飼養衛生関連実習家畜の飼養管理に関すること。
- 六 その他家畜飼養衛生管理に関すること。

(職員)

第5条 センターに、次に掲げる職員を置く。

- 一 教育職員（大学院連合獣医学研究科専任教員を含む。）（併任教育職員）
- 二 その他センター長が必要と認める者

(センター長)

第6条 センターにセンター長を置き、応用生物科学部共同獣医学科の教授をもって充てる。

2 センター長は、第9条第1項に規定する運営協議会の意見を聴いて、応用生物科学部長（以下「学部長」という。）が選考する。

3 センター長は、学部長の命を受け、センターの業務を総括する。

4 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中でセンター長の交代があった場合の後任のセンター長の任期は、前任者の残任期間とする。

5 センター長に事故があるときは、副センター長がその職務を代理する。

(副センター長)

第7条 センターに副センター長を置き、第9条第1項に規定する運営協議会の意見を聴いて、センターの教育職員の教授又は准教授のうちからセンター長が指名する。

2 副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で副センター長の交代があった場合の後任の副センター長の任期は、前任者の残任期間とする。

(部門長)

第8条 第3条に規定する各研究部門に部門長を置き、センター長が指名する当該研究部門の教授をもって充てる。

2 部門長は、当該研究部門における研究に関し総括及び調整を行い、センターの目的達成のため、他研究部門と連携して業務を遂行する。

3 部門長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で部門長の交代があった場合の後任の部門長の任期は、前任者の残任期間とする。

(運営協議会)

第9条 センターの管理運営に関し重要事項を審議するため、センターに運営協議会を置く。

2 運営協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、学部長が定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

2) 岐阜大学応用生物科学部附属家畜衛生地域連携教育研究センター運営協議会細則  
平成27年3月18日  
細則第72号

(趣旨)

第1条 この細則は、岐阜大学応用生物科学部附属家畜衛生地域連携教育研究センター（以下「センター」という。）規程第9条第2項の規定に基づき、センター運営協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 センター長
- 二 副センター長
- 三 併任教育職員
- 四 共同獣医学科及び附属動物病院から選出された教育職員 2名
- 五 各課程長
- 六 事務長
- 七 その他協議会が必要と認める者

2 前項第4号及び第5号に規定する委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期中に欠員が生じた場合の後任者の任期は、後任者の残任期間とする。

(協議事項)

第3条 協議会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 センター長候補者の推薦に関する事項
- 二 教育研究に関する事項
- 三 予算及び決算に関する事項
- 四 管理運営に関する事項
- 五 その他センターに関する重要事項

(委員長)

第4条 協議会に委員長を置く。

- 2 委員長は、センター長をもって充てる。
- 3 委員長は、協議会を招集し、その議長となる。
- 4 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

- 2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、応用生物科学部総務係において処理する。

(雑則)

第7条 この細則に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、協議会の意見を聴いて、学部長が定める。

附 則

この細則は、平成27年4月1日から施行する。



### 3. 関連施設

平成 29 年 6 月に岐阜県中央家畜保健衛生所が岐阜大学のキャンパスに移転し、施設の 3 階部分（実習室及び実験室）と 1 階の一部（70 名と 30 名収容の講義室）が本学の家畜衛生学関連教育研究の拠点施設として利用を開始した。平成 27 年に設置された家畜衛生地域連携教育研究センター（GeFAH）は、それらの施設を活用して、日本の獣医学においてこれまで不十分であった総合的な教育・研究を推進している。

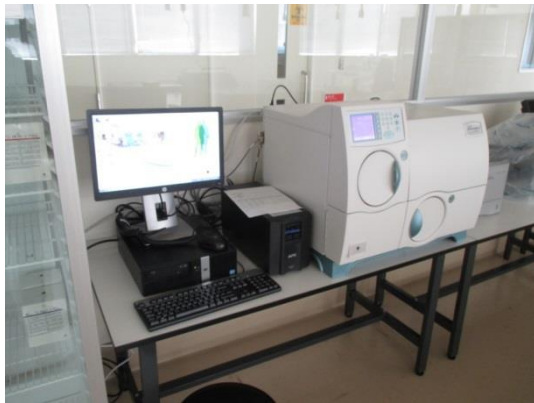
#### 外観



- 1 階 家畜保健衛生所事務室及び共用講義室
- 2 階 家畜保健衛生所検査室
- 3 階 家畜衛生地域連携教育研究センター（GeFAH）の実習室（BSL2）、実験室（BSL2）及び解析室（感染実験用動物施設、BSL2）を設置

#### GeFAH 実習室





自動細菌同定装置 (GeFAH 実験室)



鶏用アイソレーター (解析室)

地域と連携し  
家畜衛生の向上と安全に  
貢献します。

■ 業務内容 Activities

- ・家畜衛生の教育に関すること
- ・家畜疾病等の学術研究に関すること
- ・家畜の防疫・保健衛生対策に関すること



#### 4. 活動実績

##### (1) 産業動物の飼育・衛生管理、疾病予防、産業動物臨床に関する総合的な教育・研究

##### 高病原性鳥インフルエンザ防疫演習

岐阜大学フィールド科学教育研究センター柳戸農場において、高病原性鳥インフルエンザ実動防疫演習を実施した。

演習では、万が一県内で高病原性鳥インフルエンザが発生した際に現場での作業リーダーとなる県農政部職員等が、防護服の着脱や実際の農場における作業を体験し、発生農場における作業リーダーとしての役割について理解を深める機会となった。

日時：平成30年9月6日

場所：岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター柳戸農場

出席者：岐阜大学教員および学生、県職員 57名







## (2) 産業動物獣医師育成、家畜感染症・人獣共通感染症に関する教育研究等

### 1) 岐阜県公務員獣医師インターンシップ（畜産行政）

8月22～29日にかけて、**公衆・家畜衛生インターンシップ**を開催し、岐阜大学と鳥取大学の共同獣医学科年生を含む6人が参加した。インターンシップ生は岐阜県の農政部（畜産分野、8月22～24日）と健康福祉部（公衆衛生分野、8月27～29日）を2日半ずつ実習し、幅広く公務員獣医師の職場を体験した。

家畜衛生行政：平成30年8月22～24日

内 容：家畜保健衛生所施設での病性鑑定、農場見学、農家指導業務の体験等

場 所：岐阜県中央家畜保健衛生所、管内農場等

公衆衛生行政：8月27～29日

8月27日 オリエンテーション（中央食肉衛生検査所）、食鳥検査実習（食鳥処理場）、保健所業務実習（西濃保健所）

8月28日 と畜検査実習（と畜場）、保健環境研究所業務説明（保健環境研究所）

8月29日 精密検査実習（中央食肉衛生検査所）、動物愛護実習（動物愛護センター）、質疑応答・まとめ（中央食肉衛生検査所）



計結果

2018.9.3 作成

**【質問項目】**

- 質問①：興味を持ちましたか？  
 質問②：新しい知識や考え方を知ることができましたか？  
 質問③：説明は分かりやすかったですか？  
 質問④：今後も実施すべき実習だと思いますか？





**【回答方法】**

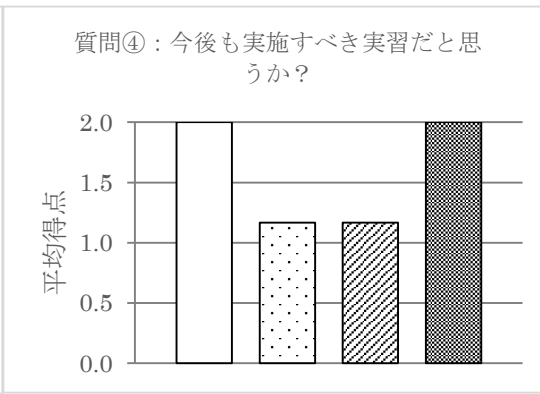
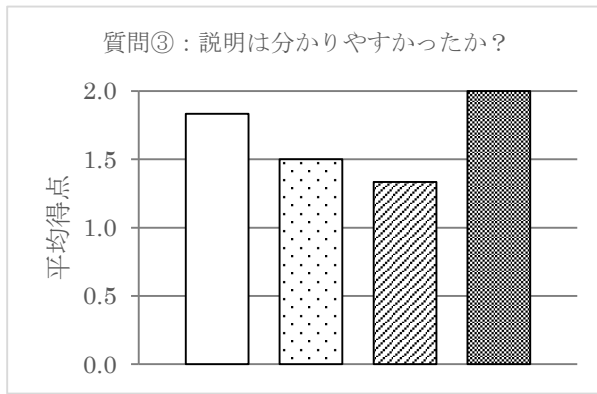
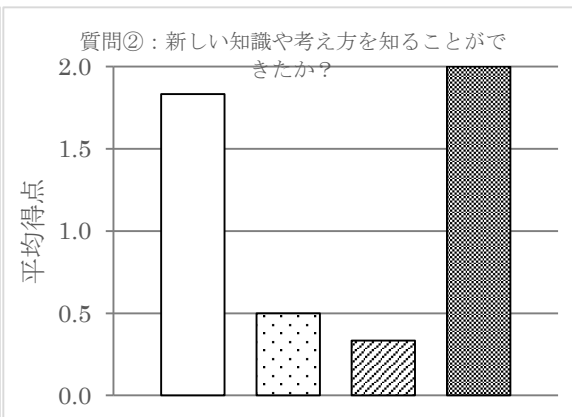
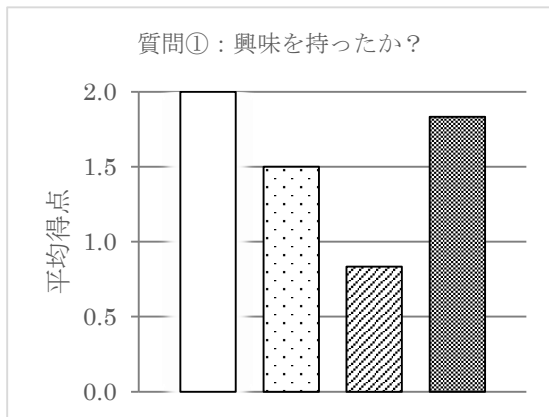
4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない の4段階で回答

**【集計方法】**

4→2点、3→1点、2→1点、1→2点として得点化して集計を行い、各質問項目についてグループごとの平均得点を算出した（満点：2点）。

**【凡例】**

 :農家での実習   
  :家保部門での検査実習   
  :病鑑部門での検査実習   
  :講義・検討会





### 【自由記載欄】

- ・最終日に見学させて頂いた養蜂場は学生があまり見ることができる場所ではないため、見学することができ、よかった。
- ・ふだん経験できないこと（養蜂場立入・検討会）を体験できたことが非常に嬉しかった。業務内容上難しいことだとは思いますが、牛からの採血や実際の検査など、ふだんの業務の体験をもっとしてみたいかった。実習時間外に職員の方から聞く現場の話が大変興味深かった。
- ・農家さんでの実習では普段見れない所が見れて勉強になりました。また、農家との会話には色々な情報の共有がありとても興味深かったです。検査に関してもとても勉強になりました。
- ・養蜂家さんは初めてだったので行けて良かったです。家保での検査実習は大学でやったことのあるものが多かったですが、実際に手を動かして職員の方も丁寧に教えてくださったので良かったです。検討会はとても勉強になりました。
- ・養蜂場の見学が新鮮で楽しかった。
- ・養蜂農家さんでの実習に初めての体験でとても興味深かったです。最終日の検討会もとても勉強になりました。

## 2) 獣医関係法規

岐阜大学共同獣医学科4年生が岐阜県中央家畜保健衛生所小林（直）保健衛生課長と小林（弘）企画連携係長を講師に迎え、獣医関連法規等の講義（7月4、11、18日）を受講した。

## 3) 動物衛生学実習

- と き： 平成30年11月6日および13日  
 ところ： 管内酪農場  
 参加者： 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科4年生 30名  
 岐阜大学教員、管理獣医師、家保職員  
 概 要： 学生を対象に、農場見学を実施



## 4) 高校生向け産業動物獣医師に関するガイダンス

- ・8月9～10日（木～金）オープンキャンパス  
 岐阜県家畜保健衛生所ブース設置  
 家畜保健衛生所見学ツアー（主に高校生を対象）

獣医学部に進学を希望する高校生を対象に公務員獣医師への理解を深めてもらうため、岐阜大学

オープンキャンパス 2017 (8月9日および10日開催)にて公務員獣医師の仕事紹介をしました。また、同じ日に岐阜大学敷地内にある岐阜県中央家畜保健衛生所の見学ツアーも開催し、たくさん的高校生、ご家族の方に参加いただきました。

日 時 : 平成30年8月9日および10日  
場 所 : 岐阜大学  
出席者 : ①397名、②81名  
内 容 : ①公務員(県)獣医師の業務等の説明およびパネル展示  
②中央家畜保健衛生所の見学

## 【H30 オープンキャンパスにおける公務員獣医師仕事紹介アンケート集計結果】

(中央家保見学ツアー)

### 1. アンケート回答者について

	8月9日		8月10日		合計
	午前	午後	午前	午後	
高校1年生	2	3	6	3	14
高校2年生	5	3	6	2	16
高校3年生	3	0	1	4	8
家族	11	4	11	9	35
その他	0	0	1	1	2
無回答	3	0	2	1	6
合計	24	10	27	20	81

### ①アンケート回答者の内訳について

都道府 県名	8月9日		8月10日		合 計
	午前	午後	午前	午後	
北海道	0	2	0	0	2
岩手	0	0	1	0	1
茨城	0	0	0	2	2
千葉	0	0	0	2	2
神奈川	0	0	0	1	1
千葉	0	0	1	0	1
東京	0	0	1	0	1
静岡	6	0	2	4	12
愛知	2	1	6	3	12
岐阜	3	3	5	0	11
三重	0	2	8	0	10
山梨	3	0	0	0	3
福井	0	2	0	0	2
滋賀	5	0	0	2	7
大阪	2	0	0	5	7
京都	0	0	3	0	3
広島	3	0	0	1	4

合計	24	10	27	20	81
----	----	----	----	----	----

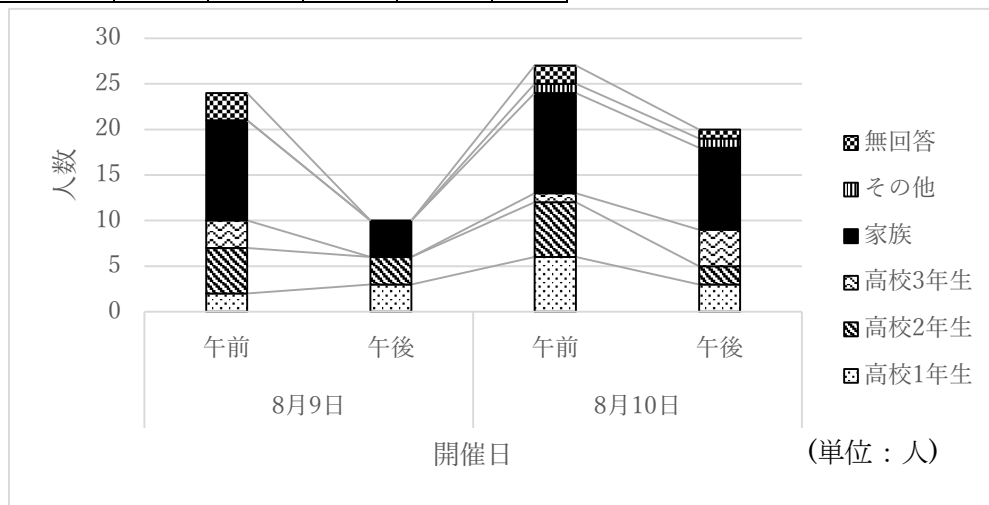


図1 各開催日におけるアンケート回答者数および内訳

②居住する都道府県の内訳について

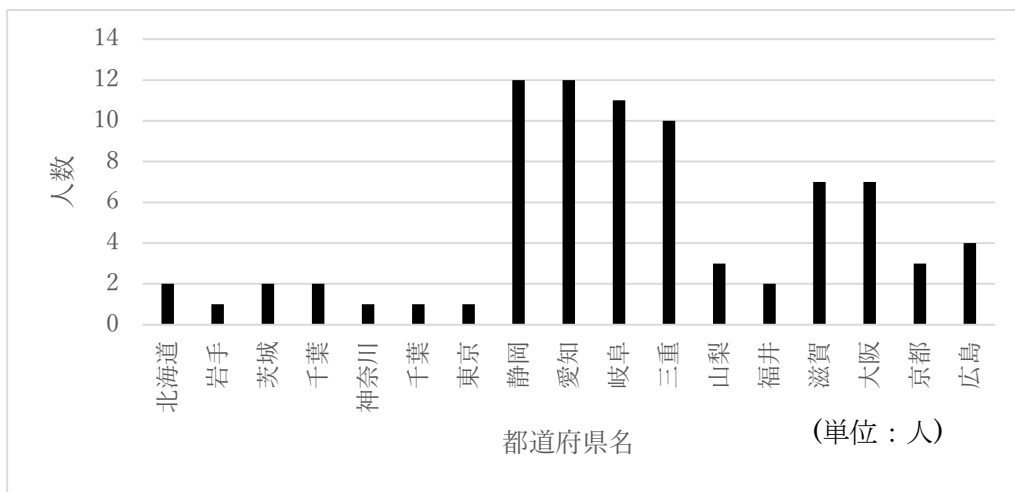
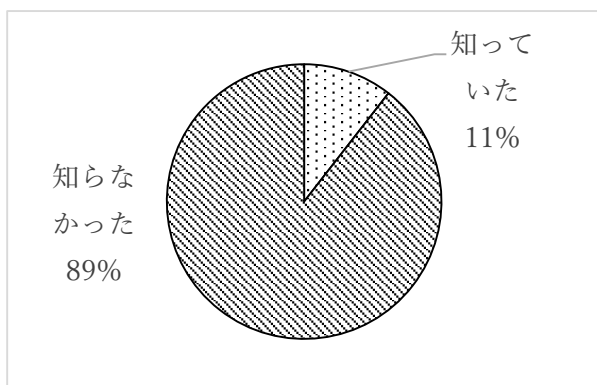
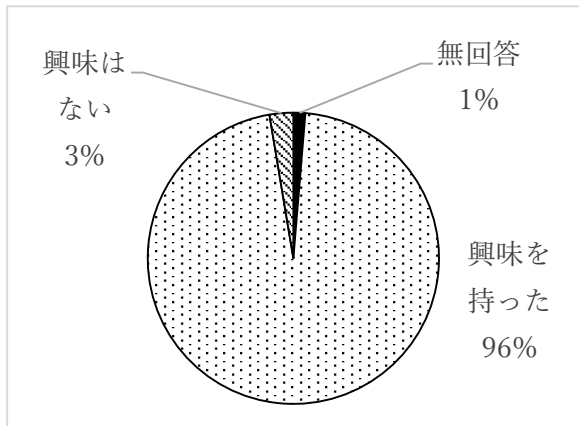


図2 各開催日におけるアンケート回答者数および内訳 (居住する都道府県別)

2. 以前から「家畜保健衛生所」の仕事を知っていたか (質問1)



### 3. 家畜保健衛生所の仕事内容について（質問2）



### 4. 見学の感想（自由記述）

参加者から寄せられた感想・意見は以下の7つに区分された。

#### 【施設・設備について】

- ・最先端の施設で驚いた。人間の食料の安全をして頂き、ありがとうございます。
- ・施設の役割や概要、設備について詳しく知ることができたので大変良かったです。
- ・厳重に管理されていてすごかったです。
- ・きれいな職場でいいなあーというのが第一印象です。
- ・施設を建てるのにすごくお金がかけられていて驚きました。それだけ厳重な設備が合っただけすごいなと思いました。
- た。将来の視野が広がりました。
- ・病気の原因となる菌を持ち込まない（広めない）工夫が徹底していて感心しました。食肉の安全を守る仕事は偉大だなと思いました。ありがとうございます。
- ・菌を持ち込まない、持ち出さないための対策がたくさんあっておどろいた。
- ・大学でも本格的な設備に触れられるのが興味深いと思いました。
- ・どのように管理がされているのか具体的に知ることができました。
- ・県と共同でこのような施設があり、学生が実際に体験できるので良いと思った。
- ・大学の中に県と共同の施設があることに驚きました。すごく細かい研究ができそうでわくわくしました。
- ・実際に働いている現場を見ることができて良かった。最新の設備ばかりで驚いた。
- ・おいてある機械の説明もしてほしかったです。
- ・私たちが安心して食品を口にできるための施設を見ることができたのは良かったです。

#### 【見学して獣医師の仕事について理解が深まった】

- ・しっかり管理された施設で粛々と検査が行われていると感じた。私たちの食の安全を守って頂いていると感じた。地道なお仕事ですね。本当にありがとうございます。皆さんも感染しないように！見学できて良かったです。娘にもこのような仕事に携わってほしいと思いました。
- ・ウイルスなどの研究はとても慎重にしているのだなと思いました。獣医師にも様々な仕事があるのだということ知れてよかったです。
- ・獣医の仕事の幅広さを知り、進路について考える良い機会になったと思う。

**【家畜保健衛生所で働くことに興味を持った、進路の参考になった】**

- ・現場を見れたのはすごく良かったです。学校の見学は色々なところに行きましたが、実際に卒業後の進路の一つを考えられる機会を持てたことは今回だけでした。お忙しいところ見学させて頂きありがとうございました。
- ・めったに見学できない施設見学が出来て良かったです。卒業後の就業先の一つのイメージを掴めたと思います。ありがとうございました。
- ・普段見られないお仕事の様子を見ることができて面白かったです。娘の進路の参考になったと思います。ありがとうございました。
- ・実際の保健衛生所を見て以前より興味を抱きました。人にも動物にも密接にかかわるこのような仕事に就きたいと、より思いました。
- ・私たちの生活に重要な食に関するものに、こんなに獣医師さんが関わっていることを知れて良かったです。子供が獣医師になれた際には、仕事の選択肢が増えました。

**【食品衛生について興味を持った】**

- ・食品衛生の重要さを改めて感じました。自分の住んでいる所にもあるのか興味を持ちました。
- ・生活に直接関係する場所ではないが影から生活を支えているものがあることを実感することができて興味が持てた。
- ・安全な食品を提供するのにいろんな人が携わっているんだなど、もっと感謝して口に入れなきゃと思いました。
- ・安心安全な食べ物を頂けるのはこうした目に見えない菌やウイルスを研究するお仕事があるのだということが知れて良かったです。
- ・日常食べている様々な畜産動物がたくさん過程を経てみんなの手に届くことがよく分かりました。
- ・自分たちが普段食べているお肉のためにこんなに手間暇かけて検査などしていたなんて全く知らなかったのすごいです感動しました。

**【自分も中央家保の施設・設備を利用してみたい】**

- ・研究室がきれいだった。検査してみたいと思った（ここで）。

**【見学ツアーでの説明について】**

- ・丁寧に説明してもらい、わかりやすかった。見学ツアーは実際に見ることができるので子供も仕事のイメージがしやすいと思う。
- ・丁寧に説明して頂いてありがとうございました。
- ・建物の中がとてもきれいで驚きました。説明がわかりやすく、楽しかったです。ありがとうございました。

**【その他、感想、意見等】**

- ・すばらしい
- ・岐阜大学の敷地の広さに驚いた。
- ・こういう場所を見学できる機会は滅多にないので貴重な体験ができて良かった。
- ・とても貴重な体験ありがとうございました。解剖室や検査室を見ることができ良い勉強になりました。
- ・様々な機械があり、自分が知らなかったことを知ることができ、今後のためのいい経験になった。
- ・普段見られない所を見ることができ、興味深かったです。



- ・ざっくりと分かったと思います。そういう仕事もあるのだと子供にもイメージがわいて良かったです。
- ・知らなかったことを知れてよかったです。
- ・色々と大学へ行ってみましたが大変良かったです。
- ・忙しい中ありがとうございました。
- ・衛生、研究等興味を持った時、専門的に実戦している場所が敷地内にありとてもいいなと思います。
- ・色々ご用意いただきありがとうございました。
- ・獣医師の仕事でも知らないことがたくさんあって驚きました。ありがとうございました。
- ・獣医師が多くかかわっていることを知りませんでした。一生懸命ご説明頂きありがとうございました。
- ・施設内を詳しく案内してもらえてよかった
- ・知らないことが少し理解できました。
- ・平日にお邪魔しました。獣医さんがどのような仕事を実際にされているのかを現場で説明して頂けたらもっと良かったと思います。
- ・この機会に貴重な経験をありがとうございます!!
- ・獣医学科などの獣を扱う所は、人間の分野よりもまとめて学べるのでまだ獣についてどんなことがやりたいか決まっていな自分にとっても合うと思いました。
- ・県職員の獣医師の方々が大変責任のあるお仕事を日々されていることを知りました。安心安全に暮らせるように今後ともお願い致します。P.S.木更津総合のノジリ投手が岐阜出身と伺いました。応援しますね。
- ・危険を冒して人間が安全に暮らせるように日々研究して下さっている方々がいるということを知れました。とてもためになりました。おいしいお肉が食べられたり、安心して生活できることに関わって下さっているすべての人に感謝して生きたいです。
- ・最先端の現場を見たようで少し感動を覚えました。食品等を見るとき目が変わりそうです。
- ・貴重な体験ができてよかった。
- ・保健衛生所の機能がよく分かった。この調子でツアーを継続して欲しい。





### 5) 岐阜市立女子短期大学食物栄養学科との教育連携

岐阜大学応用生物科学部附属家畜衛生地域連携教育研究センター（GeFAH）・同附属岐阜フィールド科学教育研究センターと岐阜市立女子短期大学食物栄養学科との教育連携の一環として、牛乳を生産するウシや卵を生産するニワトリなど家畜の飼育方法と衛生管理等を理解し、食品や調理の衛生管理等に資する連携教育に取り組みました。

対 象 岐阜市立女子短期大学 食物栄養学科 2 年生 60 名（A クラス 31 名、B クラス 29 名）

担 当 者 岐阜市立女子短期大学 食物栄養学科 堀光代 教授

岐阜県中央家畜保健衛生所職員

岐阜大学応用生物科学部 附属家畜衛生地域連携教育研究センター（GeFAH）・共同獣医学科教員，同附属岐阜フィールド科学教育研究センター併任教員・技術職員

実施場所 岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター 農場

時 期 平成 30 年度後学期 2 クラスを 2 回（2 日）で実施する

A クラス 11 月 26 日（月）29 名

B クラス 11 月 27 日（火）29 名

#### スケジュール

9:00	JR 岐阜駅にて学生バス乗車
9:30	岐阜市立女子短期大学正門にて残りの学生バス乗車
10:00	岐阜大学柳戸農場着
10:10-10:20	あいさつ オリエンテーション 今日のスケジュール(猪島先生)
10:20-10:40	岐阜大学農場の説明（八代田先生）
10:40-11:20	講義「草からミルクができるまで」（八代田先生）
11:20-12:20	休憩・昼食
12:20-12:40	農場への入り方、消毒の意義・必要性、防護服の着用方法（岐阜県家保 小林様）
12:40-12:50	着替え・移動
12:50-13:30	グループ 1: 牛舎見学、管理の説明（有代） グループ 2: 鶏舎見学、管理の説明（酒向）
13:40-14:20	グループ 1: 鶏舎見学、管理の説明（酒向） グループ 2: 牛舎見学、管理の説明（有代）
14:30-15:00	着替え、レポート、アイス試食、終わりのあいさつ(猪島先生 / 高須先生)
15:10	岐阜大学出発
15:40	岐阜市立女子短期大学着 一部の学生下車
16:10	JR 岐阜駅にて残りの学生下車・解散



## 記録

バス到着後、猪島先生、八代田先生、新津で岐阜フィールド科学教育研究センター加工棟へ堀先生と学生を案内。教室に学生が揃うと、猪島センター長からあいさつがあった。

その後、八代田先生から「草からミルクができるまで」の講義。学生は熱心に聴講しており、メモを取っていた。岐阜県中央家保から農場への入り方、消毒の意義・必要性、防護服の着用方法の説明があった。その後、隣の教室へ移動し、ブルーシートの上で防護服を着用した。

学生を2班に分け、1班は牛舎見学・説明、もう1班は鶏舎見学・説明を交代で行った。案内は堀先生(猪島先生)と新津が1班ずつにつき、牛舎は有代が、鶏舎は酒向が説明した。家畜飼育現場の衛生管理や実際に牛や鶏に触れる体験を行った。見学は前後半40分ずつ行った。防護服を脱いだあとは教室に戻り、農場で絞ったミルクを使ったアイスクリームを食べつつ、アンケートを作成。授業や全体の評価は非常に高く(次ページ参照)、「貴重な体験になった」などの感想があった。一人、牛舎見学後に気分の悪くなった学生がいたが、猪島先生に対応していただき、大きな問題はなく終わることができた。



## アンケート結果

平成30年度11月26日(月)・27日(火)実施							
岐阜市立女子短期大学・岐阜大学 連携教育 授業アンケート	計58名						
1.講義	はい	いいえ				回答なし	
おもしろかった		58	0				0
興味をもった		58	0				0
2.農場への入り方、消毒の意義・必要性、 防護服の着用方法							
おもしろかった		56	2				0
興味をもった		57	1				0
3.牛舎見学 管理の説明							
おもしろかった		58	0				0
興味をもった		58	0				0
4.鶏舎見学 管理の説明							
おもしろかった		56	2				0
興味をもった		56	2				0
5.授業全体の評価(5段階評価)	5(強くそう思う)	4(そう思う)	3(どちらともいえない)	2(そう思わない)	1(強くそう思わない)	回答なし	平均
授業の目的が明確で体系づけられていましたか		41	17	0	0	0	0 4.71
配布資料は理解しやすかったですか		42	16	0	0	0	0 4.72
質問はしやすかったですか		31	22	4	1	0	0 4.43
6.総合評価(5段階評価)		44	12	1	0	0	1 4.75
7.予習	はい	いいえ				回答なし	
今回の実習のために予習をしましたか		1	57				0

## 6) 家畜衛生技術検討会

岐阜大学と岐阜県の連携事業の一環として、家畜衛生に係る連携事業や共同研究などについて情報共有や検討する場として、平成27年度より家畜衛生技術検討会（旧 連携勉強会）を開催している。

### 平成30年度 第1回家畜衛生技術検討会（第15回）

・5月22日（火）17:00～ 21 講義室

「牛 *Mycobacterium avium hominissuis* による全身性非定型抗酸菌症と抗酸菌症対策に向けた岐阜大学との共同研究」愛知県中央家畜保健衛生所 小松徹也 先生

### 第2回家畜衛生技術検討会（第16回）・家畜衛生講演会

・6月4日（月）15:00～17:00 104 講義室 県内、近隣県から関係者 57名参加

講演「牛白血病の最新知見、現状と対策」北海道大学大学院 今内覚 先生

発表「東濃家畜保健衛生所管内の和牛繁殖農家の牛白血病清浄化対策」

演者 東濃家畜保健衛生所 山岸光葉 先生



### 第3回家畜衛生技術検討会（第17回）・家畜衛生講演会・家畜感染症フォーラム

・3月8日（金）13:30～応用生物科学部 101 教室

「トキソプラズマ-家畜衛生と食品安全の観点から-」岐阜大学 高島康弘

「飛騨地域における牛の肝蛭症（JRA 畜産振興事業）」岐阜大学 高島康弘



### (3) 地域貢献、獣医学教育の国際化等

- ・ 5月18日(金) 14:00～15:30 岐阜県農業共済組合連合会 会議室にて  
岐阜県獣医師会 平成30年度獣医学術研修会 講演  
「動物分野における薬剤耐性菌の抑制に向けて」講演：浅井鉄夫
- ・ 6月12日(金) 13:30～15:30 中央家畜保健衛生所 1F 講義室  
平成30年度第1回家畜衛生推進会議 出前講義  
「畜産分野における薬剤耐性菌対策の実態について」講演：浅井鉄夫
- ・ 5月30日(水) 13:30～15:30 施設見学の対応  
名古屋大学大学院生命農学研究科・執行部
- ・ 7月10日(火) 13:00～18:00 岐阜駅前サテライトキャンパス  
名大・岐阜大農学系連携シンポジウム  
「グローバルな農学教育研究拠点の創成とその発展性」  
・ 農学系附属施設の教育研究  
「家畜衛生地域連携教育研究センターGeFAH」発表(浅井)  
・ 自由討論  
「マイクロミニピッグを用いたトランスレーショナル研究プラットフォームの構築」発表(高須)
- ・ 7月10日(火) 14:00～17:00 中央家畜保健衛生所  
岐阜大学総合企画部の視察対応(猪島、山下所長)
- ・ 7月31日(火) 9:30～ 岐阜大学にて  
三重県農林水産部 平成29年度消費・安全対策交付金事業の事後評価  
第三者評価委員として評価(大屋)
- ・ 9月10日(月) 11:00～ GeFAH  
岐阜大学獣医学科V大11卒業生(S38.3.卒業)10～15名  
GeFAH施設見学対応(岡田)
- ・ 10月5日(金) 14:00～ 応用生物科学部第2会議室  
農水省 北陸農政局 第三者評価会打ち合わせ(猪島)
- ・ 10月10日(水) 13:30～ 岐阜県産業技術センター3F 講堂  
食品セミナー～食品の安全安心～  
「畜産物の微生物汚染 ～薬剤耐性菌を中心に～」講演：浅井鉄夫
- ・ 12月3日(月) 13:30～ 岐阜県農業会館  
獣医学術研修会(岐阜県獣医師会・GeFAH 共催)  
「豚コレラとアフリカ豚コレラについて」  
講師 山田学 先生(農研機構 動衛研 海外病研究チーム)



- ・ 2月12日（火） 18:00～ 連合大学院棟2階会議室  
第174回おにぎり会「家畜伝染病（法定伝染病） 豚コレラの発生」  
講演：猪島康雄

**家畜伝染病（法定伝染病）  
豚コレラの発生**

撮影、録音、SNSへの投稿、等 しないでください  
一部、秘密事項が含まれます

共同獣医学科  
食品環境衛生学研究室  
家畜衛生地域連携教育研究センター（ジーファー）  
Education and Research Center for Food Animal Health, Gifu University  
(GeFAH)

 **猪島 康雄**

2019.2.12. 第174回おにぎり会

December 12

25	26	27	28	29	30	31
2	3	4	豚コレラ 発生	6 休講	7	8
9	豚コレラ 発生	11	12	13	14	豚コレラ 発生
16	17	18	19	20	21	22
23 <small>天皇誕生日</small>	24 <small>祭日</small>	豚コレラ 発生	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

3例目 岐阜県畜産研究所  
 4例目 イノシシ飼育施設  
 5例目 岐阜県農業大学校  
 6例目 豚一貫農場

- ・ 2月13日（水） 13:30～岐阜県獣医師会 会議室  
獣医師確保推進事業に係る検討会 大場（岐阜県獣医師会理事）

#### (4) その他の活動

##### 【教育】

- ・ 4月27日（金）10:00～中央家畜保健衛生所 所長室にて  
2年生 大学教育導入演習Ⅱでの講義・施設見学（椎名、猪島）
- ・ 6月11日（月）13:00～14:00 フィールド科学教育研究センター（柳戸農場）1F 会議室  
岐阜市立女子短期大学 食物栄養学科学生の農場見学実習の打ち合わせ  
岐阜市立女子短期大学 堀光代 先生  
（猪島、浅井、新津）
- ・ 6月12日（火）13:00～14:30 33 講義室 共同獣医学科4年生30名受講  
厚生労働省 出張講義 「獣医公衆衛生行政について」  
講師 厚生労働省 食品監視安全課  
齊藤恵子 先生
- ・ 7月 8月の大学教育導入演習Ⅱ（岐阜大生・鳥取大生）打ち合わせ  
家畜保健衛生所見学について（椎名）
- ・ 8月29～30日（水～木）大学教育導入演習Ⅱ（岐阜大生・鳥取大生）  
家畜保健衛生所見学 （椎名）
- ・ 10月 GeFAH 実習室での実習スタート
 

月	3年生	公衆衛生学実習
火	4年生	動物衛生学実習（一部）
木	2年生	獣医微生物学実習Ⅱ
	1年生	獣医生化学実習（一部）
- ・ 10月9日（火）16:30～GeFAH 周辺の街路灯設置についての打ち合わせ  
金竹事務長、西脇管理係長、河田・花森改修工事事務室、猪島
- ・ 10月25日（木）14:00～GeFAH への経路整備についての打ち合わせ  
杉山学部長、金竹事務長、河田改修工事事務室、猪島
- ・ 1月23（水）～24（木）GeFAH へのアクセス市道交差点2箇所に防犯灯設置工事・完了
- ・ 3月5日（火）10:00～全学共通教育講義棟 102 教室  
第20回岐阜大学技術報告会  
「柳戸農場での教育連携授業の報告」  
講演：新津伊織

##### 【研究】

- ・ 5月25日（金）10:30～ 研究協力農場にて、  
研究結果の途中経過説明（猪島、学生、中央家畜保健衛生所 長野博子 先生 同席）
- ・ 7月3日（火）10:30～ 研究協力農場 解析データ説明と採材（猪島）
- ・ 10月4日（木）13:10～ 東京大学弥生講堂 一条ホールにて

畜産振興事業に関する調査研究発表会

「家畜慢性感染症の感染源と感染経路の解明」



～豚抗酸菌症とトキソプラズマを例に～ 講演：大屋賢司

・ 3月8日（金）13:30～応用生物科学部 101 教室

家畜衛生技術検討会・家畜感染症フォーラム

「トキソプラズマ－家畜衛生と食品安全の観点から－」講演：高島康弘

「飛騨地域における牛の肝蛭症（JRA 畜産振興事業）」講演：高島康弘

**家畜衛生技術検討会・家畜感染症フォーラム**

日 時：平成31年3月8日(金) 13:30～15:30  
場 所：岐阜大学応用生物科学部 101教室  
内 容：GeFAH教員と岐阜県との連携研究等

－ ご興味のある方はどなたでもご参加ください －

<内容>

1. 「岐阜県における豚コレラの発生について」  
岐阜県中央家畜保健衛生所 長野博子 病性鑑定監
2. 「トキソプラズマ－家畜衛生と食品安全の観点から－」  
岐阜大学応用生物科学部/家畜衛生連携教育研究センター(GeFAH)  
高島康弘 准教授
3. 「飛騨地域における牛の肝蛭症（JRA畜産振興事業）」  
岐阜大学応用生物科学部 伊藤健吾 准教授  
岐阜大学応用生物科学部/GeFAH 高島康弘 准教授

岐阜大学COC事業 地域志向学研究プロジェクト 担当：共同獣医学科獣医寄生虫学分野  
高島康弘 atakashi@gifu-u.ac.jp

・ 3月12日（火）14:00～岐阜薬科大学 本部2階 大学院講義室

第5回医薬獣連携研究会

「臨床獣医学に立脚したミニブタのモデル動物学」講演：高須正規

・ 3月27日（水）11:00～ 研究協力農場 解析データ説明と採材（猪島）

#### 【その他講演会等】

「男女ともに獣医師として活躍を続けるためのセミナー」

日 時：平成30年11月19日（月）13:00～15:00

場 所：岐阜大学応用生物科学部C棟3階34番教室

内容

「獣医師の現状と日本獣医師会の取組みの紹介」

「OIE動物疾病科学委員会 副議長、委員、書記長の仕事について」

公益社団法人 日本獣医師会 事務局 関谷 順一 先生

坂本 研一 先生

「獣医師の職場の実態や働き方の紹介」

(1) 有限会社 知多大動物病院 獣医師 山本 佳絵 先生

(2) 神奈川県 健康医療局 生活衛生部 部長 梶木 富美恵 先生



### 市民公開講座の共催

連合獣医学研究科主催の第6回市民公開講座「ワンヘルスから考える動物の感染症ー飼育動物から環境への病原体の放出ー」を一般社団法人 岐阜県医師会、公益社団法人 岐阜県獣医師会、岐阜県、岐阜大学応用生物科学部と共催した。医療、獣医療、環境衛生が連携して取り組む One Health (ワンヘルス) の理念に基づいて感染症を制御することを目的に、家畜と環境のかかわりについて、細菌やウイルス病を対象に防止策を考えました。

日 時：平成31年2月7日（木）14：00～17：00

場 所：岐阜大学サテライトキャンパス

参加者：41名（医師会2名、獣医師会8名、県関係13名、市町村関係3名、畜産関係者2名、その他6名、本学関係7名）

内容：発表者（所属）「演題名」

田村 豊（酪農学園大学動物薬教育センター教授）

「薬剤耐性菌の家畜から環境への放出ー堆肥とイエバエの役割ー」

青木博史（日本獣医生命科学大学獣医学部准教授）

「家畜ウイルス病の感染戦略ー環境に潜むウイルスたちー」

清水実嗣（元動物衛生研究所長）

「豚コレラの疫学と防疫」



【畜産・産業動物に関連する研究実績】

論文発表

1. Nakajima N, Doi K, Tamiya S, Yayota M. : Physiological, immunological, and behavioral responses in cows housed under confinement conditions after grazing. *Livestock Science*, 218: 44-49, 2018. [Link: doi.org/10.1016/j.livsci.2018.10.011](https://doi.org/10.1016/j.livsci.2018.10.011)
2. 八代田真人, 土井和也: 多様な植生下における放牧家畜の連続的な bite モニタリング. *日本草地学会誌*, 64: 119-124, 2018.
3. Tozaki, T., Gamo, S., Takasu, M., Kikuchi, M., Kakoi, H., Hirota, K., Hirota, K., Kusano, K. and Nagata, S.: Digital PCR detection of plasmid DNA administered to the skeletal muscle of a microminipig: a model case study for gene doping detection. *BMC Research Notes*. 11: 708, 2018.
4. Senju, N., Tozaki, T., Kakoi, T., Matsuyama, R., Nakamura, K. and Takasu, M.: Genetic relationship between Miyako and Yonaguni horses native to Okinawa islands based on polymorphisms of microsatellites. *J. Equine Sci.* 29(4):87-90, 2018.
5. Iwashita, T., Uemura, S., Shimizu, M., Hyodo, F., Tomita, H., Iwasaki, R., Takasu, M., Mori, T., Tanaka, H. and Matsuo, M.: Endoscopic ultrasound-guided fine needle injection of hydrogen peroxide into the pancreas: Feasibility and safety study using a survival porcine model. *Ultrasound Med Biol.* 45(2):579-585, 2019.
6. Okubo T, Yossapol M, Maruyama F, Wampande EM, Kakooza S, Ohya K, Tsuchida S, Asai T, Kabasa JD, Ushida K. Phenotypic and genotypic analyses of antimicrobial resistant bacteria in livestock in Uganda. *Transbound. Emerg. Dis.* 66(1):317-326, 2019.
7. Matsubara, T., Takasu, M., Imaeda, N., Nishii, N., Takashima, S., Nishimura, T., Nishimura, T., Shiina, T., Ando, A. and Kitagawa, H. Genetic association of swine leukocyte antigen class II haplotypes and body weight in Microminipigs. *Asian-Australas. J. Anim. Sci.* 31: 163-166, 2018.
8. Imaeda, N., Ando, A, Takasu, M., Matsubara, T., Nishii, N., Takashima, S., Shigenari, A., Shiina, T., Kitagawa, H. Influence of swine leukocyte antigen haplotype on serum antibody titers against swine erysipelas vaccine and reproductive and meat production traits of SLA-defined selectively bred defined selectively bred Duroc pigs. *J. Vet. Med. Sci.* 80(11):1662-1668, 2018.
9. Ito T, Sawai K, Kawai M, Nozaki K, Otsu K, Fukushi H, Ohya K, Maruyama F. Draft genome sequences of *Mycobacterium senuense* isolate GF74 and *Mycobacterium colombiense* isolate GF28 and GF76 from a swine farm in Japan. *Microbiol. Resour. Announc.* 7:e00936-18, 2018.
10. Yoshida S, Araki T, Asai T, Tsuyuguchi K, Arikawa K, Iwamoto T, Nakajima C, Suzuki Y, Ohya K, Yanai T, Wada T, Yamamoto T. Phylogenetic uniqueness of *Mycobacterium avium* subspecies *hominissuis* isolated from an abnormal pulmonary bovine case. *Infect. Genet. Evol.* 62: 122-129, 2018.
11. Ito T, Maruyama F, Sawai K, Nozaki K, Otsu K, Ohya K. Draft genome sequence of *Mycobacterium virginiense* strain GF75, isolated from the mud of a swine farm in Japan. *Genome Announc.* 6: e00362-18, 2018.
12. Oba M, Katayama Y, Tsuchiaka S, Omatsu, T, Murata Y, Ohya K, Makino S, Nagai M, Mizutani T. Discovery of an immunodeficiency-associated virus-like virus from pig feces in Japan. *Japanese J. Vet. Res.* 66: 53-56, 2018.
13. Chahota R, Ogawa H, Ohya K, Yamaguchi T, Everett KD, Fukushi H. Involvement of multiple *Chlamydia suis* genotypes in porcine conjunctivitis. *Transbound. Emerg. Dis.* 65: 272-277, 2018.
14. Shigemura H, Matsui M, Sekizuka T, Onozuka D, Noda T, Yamashita A, Kuroda M, Suzuki S, Kimura H, Fujimoto S, Oishi K, Sera N, Inoshima Y, Murakami K. Decrease in the prevalence of extended-spectrum cephalosporin-resistant *Salmonella* following cessation of ceftiofur use by the Japanese poultry industry. *Int. J. Food Microbiol.* 274: 45-51, 2018.
15. Kakoi, H., Kikuchi, M., Tozaki, T., Hirota, K., Nagata, S., Hobo, S. and Takasu, M.: Distribution of Y chromosomal haplotypes in Japanese native horse populations. *J. Equine Sci.* 29: 39-42, 2018.

16. Takasu, M., Maeda, M., Almunia, J., Nakamura, K., Nishii, N., Takashima, S. Response to estrus induction with abortion treatment in microminipigs on different days after insemination. *J Reprod Dev.* 64(4):361-364, 2018.

## 【豚コレラに係る対応】

1992年以後は確認されていなかった豚コレラが、2018年9月に岐阜市の養豚場で発生しました。その後、継続して農場でウイルス感染が確認され、防疫・消毒作業が継続しています。一方、野生イノシシの感染例が発見されて以降、野生イノシシのウイルス学的検査（PCR検査と抗体検査）が続けられています。2019年の3月末から愛知県と共に野生イノシシでの豚コレラ感染を制御するため経口ワクチンが散布され始めました。

GeFAH 教員の対応の記録を示します。

- ・9月9日（日）岐阜市 豚コレラ発生農場（国内1例目）  
農水省豚コレラ疫学調査チームとして現地実施（猪島）



- ・9月20日（木）16:00～ 岐阜県庁  
岐阜県豚コレラ拡散防止対策検討会 疫学専門家として参加（浅井）
- ・10月5日（金）10:00～ GeFAH 会議室  
農水省 拡大豚コレラ疫学調査チーム 現地調査（猪島）
- ・10月9日（火）10:30～ 岐阜県庁4階会議室  
岐阜県 野生イノシシ対策についての意見交換会（浅井、猪島）
- ・12月5日（水）10:00～ 美濃加茂市 豚コレラ発生岐阜県畜産研究所（国内3例目）  
農水省 拡大豚コレラ疫学調査チーム 現地調査（猪島）



- ・12月10日（月）関市 豚コレラ発生イノシシ飼育場 （国内4例目）  
農水省 拡大豚コレラ疫学調査チーム 現地調査 （猪島）



- ・12月16日（日）可児市 豚コレラ発生岐阜県農業大学校 （国内5例目）  
農水省 拡大豚コレラ疫学調査チーム 現地調査 （猪島）



- ・12月21日（金）岐阜県庁  
岐阜県 豚コレラ有識者会議 （浅井）

- ・12月25日（火）関市 豚コレラ発生農場 （国内6例目）  
農水省 拡大豚コレラ疫学調査チーム 現地調査 （猪島）

- ・12月25日（火）関市 豚コレラ発生農場 （国内6例目）  
岐阜県からの要請により殺処分、防疫措置に協力  
GeFAH 教員（伊藤、高島、猪島）を含む  
共同獣医学科教員・研究員・大学院生  
合計のべ36人





・1月9日（水） 13:00～ 応用生物科学部 第3会議室  
岐阜県獣医師会会長と豚コレラに関する意見交換 （猪島）

・1月29日（火）各務原市 豚コレラ発生農場（国内7例目）  
農水省 拡大豚コレラ疫学調査チーム 現地調査 （猪島）



・2月4日（月） 岐阜県庁  
岐阜県 豚コレラ有識者会議 （浅井）

・2月6日（水）恵那市 愛知県豊田市豚コレラ発生農場（国内8例目）の関連農場  
岐阜県からの要請により殺処分、防疫措置に協力  
GeFAH 教員（伊藤、高島、猪島）を含む  
共同獣医学科教員・大学院生  
合計のべ5人





・2月15日（金） 19:30～ NHK 総合「ナビゲーション」出演（猪島）  
「”豚コレラショック”～感染拡大は食い止められるか～」

・2月19日（火） 瑞浪市 豚コレラ発生農場（国内10例目）  
農水省 拡大豚コレラ疫学調査チーム 現地調査（猪島）



・2月22日（金） 14:00～ 農林水産省  
「拡大豚コレラ疫学調査チーム 第5回検討会」（猪島）

・3月7日（木） 山県市 豚コレラ発生農場（国内11例目）、  
農水省 拡大豚コレラ疫学調査チーム 現地調査（猪島）



- ・ 3月13日（水） 日本経済新聞夕刊  
「豚コレラ、野生イノシシから防ぐ」コメント掲載（猪島）
- ・ 3月14日（木） 13：30～ 岐阜県庁  
第1回愛知県・岐阜県アドバイサリー・グループ会議  
（イノシシへの豚コレラワクチン）（浅井）
- ・ 3月23日（土） 山県市 豚コレラ発生農場（国内12例目）
- ・ 3月25日（月） 15：00～ 岐阜県庁  
県内豚コレラ対策 意見交換会（県庁）（浅井）
- ・ 3月26日（火） 県内イノシシ検査施設と豚コレラワクチン散布地域視察（浅井）



- ・ 3月28日（木） 13:30～ 農林水産省 会議室  
「拡大豚コレラ疫学調査チーム 第6回検討会」（猪島）
- ・ 3月30日（土） 美濃加茂市 豚コレラ発生農場（国内17例目）  
農水省 拡大豚コレラ疫学調査チーム 現地調査（猪島）





## 編集後記

GeFAH の活動概要を記した 2018 年度の年報をお届けします。

多忙な教育研究の合間に積極的に事業展開いただいた GeFAH の関係職員、温かい支援をいただいた応用生物科学部および共同獣医学科の皆様、岐阜フィールド科学教育研究センター（農場）の皆様にお礼を申し上げます。また、連携授業にご尽力いただいた岐阜市立女子短期大学の関係職員の皆様にもお礼を申し上げます。

1992 年以後は確認されていなかった豚コレラが、2018 年 9 月に岐阜市の養豚場で発生しました。その後、継続して農場でウイルス感染が確認され、防疫・消毒作業が継続しています。一方、野生イノシシの感染例が発見されて以降、野生イノシシのウイルス学的検査（PCR 検査と抗体検査）が続けられています。2019 年の 3 月末から愛知県と共に野生イノシシでの豚コレラ感染を制御するため経口ワクチンが散布され始めました。今後、ワクチン散布と効果検証が続く予定です。岐阜県との継続的な連携の強化が必要となっています。

最後に、この報告書の表紙と裏表紙の挿絵は昨年引き続き金竹応用生物科学部事務長作品です。GeFAH の年次報告に文字通り花を添えていただいたことにお礼申し上げます。（年次報告編集担当 浅井鉄夫）





**GeFAH**  
Education and Research Center  
for Food Animal Health,  
Gifu University



岐阜大学応用生物科学部  
附属家畜衛生地域連携教育研究センター

住 所： 〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1  
(岐阜県中央家畜保健衛生所 3 階)

電 話： 058-201-0366

U R L： <http://www.abios.gifu-u.ac.jp/gefah/>

(2019 年 3 月)